

NILS 若手研究発表会は平成17年11月28日(月)、国立長寿医療センター  
研究所2階会議室にて開催されました。

本年度は大幅な研究所の拡充があったため、各部門の若手研究員(ポストドク)  
の方の殆どが就任後半年以内という厳しい条件下にも関わらず、21題の大変  
レベルの高いポスター発表がなされました。

長寿医療センター総長 大島伸一先生、研究所長 田平武先生による開会の挨拶  
では、長寿社会に貢献し、国民に還元できる研究、かつ国際的に高いレベル  
の発表を行なうようにとのお話がありました。引き続き行なわれたポスター発表  
ではフロアーにて活発な討論が行なわれ、人気のポスターの前は人だかりで  
前に入り込めない程でした。発表者の研究内容は老化、老年病に関する基礎科  
学、臨床科学から介護、看護、医療工学や政策医療と多岐にわたるものでした  
が、いわゆる学際的な興味をお互いにもつことで、今回の発表会はセンター内  
外の新しい共同研究を開始するための“種”となったことを確信しております。  
発表会への全参加者、91名の投票にて2題のベストポスター賞(最優秀賞と  
優秀賞)が選ばれました。これらの発表内容につきましてはホームページに掲  
載しておりますのでご覧いただければ幸いです。

老年病研究部長 丸山和佳子

